



なの 中央病院

「できない」で 終わらせない看護

どんな時も大切にしているのは、患者さんを第一に考えることです。「できない」と決めつけず、リハビリスタッフとも協力しながら、どうすればできるかを考え、一人ひとりに寄り添う看護を心掛けています。



看護師 蒲地さん

多久市立病院と小城市民病院の統合によって誕生した公立佐賀中央病院は、単なる病院ではなく、地域を支える新しいチームです。多様な専門分野のスタッフが集まったことで、一人の患者さんを見ながら支える医療が実現しました。看護師やリハビリスタッフなど、それぞれの専門性を生かしながら、「どうすれば患者さんにとって一番



リハビリスタッフ
中山さん

体と心を支えるリハビリ

合併したことで、多様な専門分野を持つ頼もしい仲間が集まりました。その強みを活かして、体だけでなく心にも寄り添い、その人らしい回復を支えたいと思っています。患者さんが最後までリハビリを続けられる環境づくりをめざしています。



来院された 方々の声

病棟にアンケートを設置しており、これまでも来院された人から沢山の声をいただきました。改善すべきご意見は積極的に取り入れ、より過ごしやすい病院になるよう取り組んでいます。

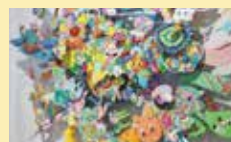
これまでの改善例

- ・ 病院から薬局までの横断歩道設置
- ・ 4人部屋のパイプ椅子追加
- ・ トイレ内の消毒薬配置変更

癒しの 空間づくり



▲ 外観のウォールアート



▲ 院内アート



▲ ワークショップの様子

アート作品の展示やものづくりワークショップを通して、患者さんやご家族、医療従事者に癒しを届けるとともに、地域のみなさんとの交流を育む空間をめざしています。



院長 佐藤先生